



「かしこくて あたたかくて たくましい子」

# いじらきたっ子

令和2年7月27日



## 引き渡し訓練 (7/13)

### — 子どもたちの命を守るために —

学校の臨時休業によって延期していた「引き渡し訓練」を7月13日(月)に保護者の皆様のご協力によって実施することができました。あいにくの雨の中でしたが、傘を差したり、視界が悪い中を歩いたりしてより実践的な引き渡し訓練になったかと思えます。校地内では最徐行をしていただきました。また、整然と駐車していただくなど、視界の悪い中でも安全に十分に配慮した引き渡しになりました。

最近の気象は、「50年に一度の大雨」「これまでに経験したことのないような天候」という表現がたびたび聞かれます。

気象庁や自治体からは、「早めの避難行動」が呼びかけられています。学校でも、気象状況に注視し、お子様の命を守るための避難行動をとってまいります。今後とも連携した取組をよろしくお願いいたします。



## 感染予防

学校再開後の教育活動は、新型コロナウイルス感染症予防を図りながら、日常を取り戻しつつあります。図書館は、換気を行った上、対面となるカウンターは、透明シールドで飛沫をさえぎっています。図書館で本を読む場合の対応は、図書委員の子たちの工夫により、距離をとって座ることができるようになりました。

体育の授業は、子ども同士の接触がないように工夫しながら学習を進めています。毎週火曜日は、伊自良中学校から体育の山口先生がいらっしゃり、担任とTTで指導しています。3・4年生は、山口先生の専門の体操を生かして「ダンス」をグループごとに創作し、体育館ステージで発表しました。



透明シールド越しに貸出を行う図書委員

## ボランティア活動ノート

本校の子どもたちは、ボランティア活動に熱心に取り組んでいます。登校中にごみを拾いながら学校に来る児童。お家で、食事の用意や片付けをしている児童。弟や妹のお世話をしている児童など。ボランティア活動ノートから素敵な姿が目に見えます。

昨今、コロナ差別やコロナいじめが、悲しいことに社会現象となっています。人の心をむしばむ差別やいじめは、ウイルスと同様に、いやそれ以上に恐ろしいものです。

他者のために自分ができようことを考え、行動に移す「ボランティア活動」を推進することで、差別やいじめとは真逆にある「自分の行動が周りの人の心を温かくする」体験を積み重ね、差別やいじめをはねのける優しい心を育ててほしいと願っています。

お家でもボランティア活動に取り組むお子様を褒めてやってください。そして「とっても助かっているよ」と価値付けてやってください。



休み時間に行っている草引きのボランティア活動